Mint Club

92号
ミントクラブ

Japan Mint

造幣局

戦時中に製造された陶貨幣の発見

テレビ局と新聞社の取材を受け、
ネットニュースにもなりました！

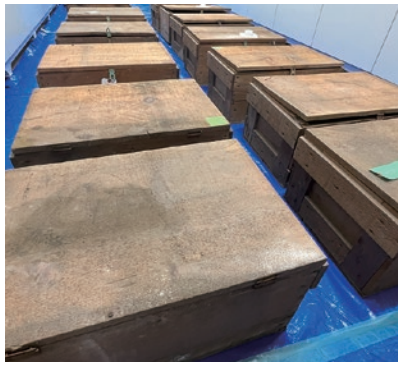
株式会社松風（京都市東山区福稲上高松町11）において、戦時中に松風工業株式会社（昭和42年に解散）が製造した陶貨幣が大量に発見され、引き渡しを受けました。

陶貨幣は、戦時中に貨幣材料である金属が不足したことから、約1,500万枚製造されました。しかし、終戦を迎え、製造された陶貨幣は発行されずに粉砕廃棄されることとなったため、「幻の貨幣」と言われています。

造幣局では、造幣博物館、造幣さいたま博物館、広島支局展示室において、以前から10銭、5銭、1銭の陶貨幣の常設展示を行うなど、陶貨幣を所有しています。今回、発見された大量（現在調査中ですが、50万枚を超える見込み）の1銭陶貨幣を、造幣局に残っている収蔵資料も参照しながら詳しく調査することで、太平洋戦争末期の貨幣製造事情にまつわる、新たな発見があるのではないかと期待しています。

［仕様］直径：15.0mm
量目：0.8g

発見された陶貨幣（一部）



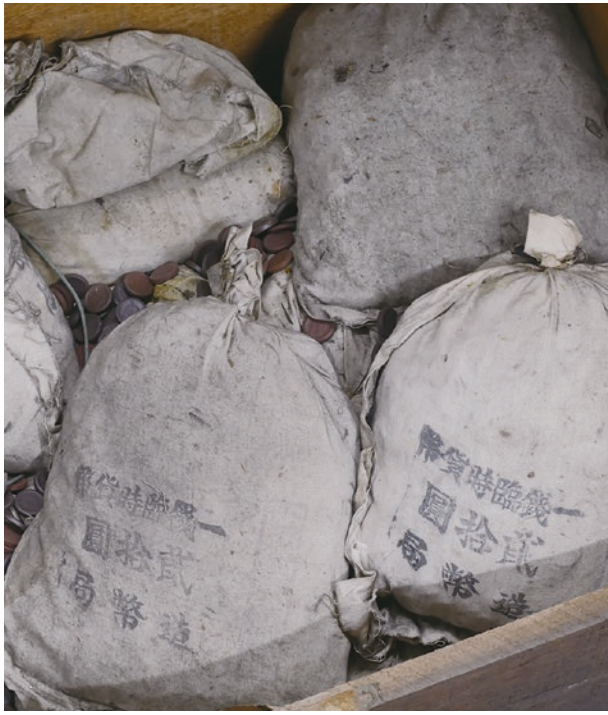
陶貨幣発見の経緯

株式会社松風は令和4年に創立100周年を迎えられ、周年事業の一環としての調査の際に、陶貨幣を倉庫内で発見されたとのことです。同社は、松風工業株式会社の第二工場の土地、建物を買収しており、その建物に残されていた陶貨幣がそのまま引き継がれたものと考えられています。

引渡しを受けた大量の陶貨幣（全部で15箱発見されました）

陶貨幣製造の経緯

戦況悪化に伴い金属の供給が困難となった背景から、昭和19年には金属以外の材料による貨幣製造に向けた研究が進められ、同年12月に陶貨幣の製造計画が決定されました。翌年3月には、国内における製陶業の盛んな地域（京都、瀬戸、有田）において陶貨幣の製造を請け負う3工場（松風工業株式会社を含む）が選定され、製造の準備が進められました。しかし、大阪大空襲により、造幣局本局の工作工場の大半が焼失し、改造中の陶貨製造機が焼け損じるなど、製造はなかなかはかどりませんでした。7月に入りようやく完全な陶貨幣が製造できるようになりましたが、全国に流通させるには不足することから発行を見合わせているうちに、終戦を迎えました。造幣局の記録によると終戦までに京都では約 200 万枚、瀬戸では約 1,300 万枚が製造されました。



小袋入りの陶貨幣

第153次製造貨幣大試験

令和6年10月28日（月曜日）、造幣局講堂において、横山財務副大臣を執行官として、第153次製造貨幣大試験が執り行われました。

今次の大試験では、昨年の大試験の後に製造された通常貨幣、「2025年日本国際博覧会記念千円銀貨幣（第二次発行）」及び「国立公園制度100周年記念千円銀貨幣（西表石垣国立公園、慶良間諸島国立公園、やんばる国立公園）」について、製造の過程で予め無作為に抽出・保管しておいたものを試験しました。その結果、すべての貨幣について基準を満たし適正であることが確認されました。

製造貨幣大試験は、造幣局創業（1871年）の翌年、明治5（1872）年に大蔵大輔兼造幣頭 井上馨を執行官として行われたのが最初で、今回の第153次に至るまで執り行われています。

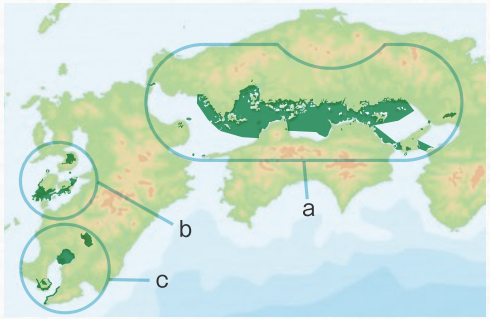
抽選会の開催

以下の製品の申込受付を行った結果、申込数量が販売数量を上回りましたので、令和６年10月10日（木曜日）に抽選を実施しました。なお、お申込み状況等を踏まえ、ゴジラ70周年2024プルーフ貨幣セットについては当初予定していた販売数量20,000個から29,000個まで増産したうえで、当選番号を決定するための抽選を実施しました。

抽選者：造幣局 監事　桑田 周一

販売製品	販売価格（消費税･送料込）	販売数	申込数
国立公園制度１００周年記念貨幣（瀬戸内海国立公園）	13,800円	40,000個	128,058個
国立公園制度１００周年記念貨幣（雲仙天草国立公園）	13,800円	40,000個	126,586個
国立公園制度１００周年記念貨幣（霧島錦江湾国立公園）	13,800円	40,000個	127,104個
ゴジラ70周年2024プルーフ貨幣セット	15,500円	29,000個	44,931個
ゴジラ70周年貨幣セット	2,900円	50,000個	65,621個
世界自然遺産貨幣セット（奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島）	2,700円	30,000個	34,519個

記念貨幣とめぐる日本の国立公園



2031年の国立公園制度100周年を記念する貨幣として、2031年に向けて各国立公園をテーマとした千円銀貨幣が順次発行されることとされています。今回は、令和6年後半に発行された3公園をご紹介いたします。

a：瀬戸内海国立公園
b：雲仙天草国立公園
c：霧島錦江湾国立公園

雲仙天草国立公園
指定：昭和9年3月16日

本公園は、昭和9年に我が国最初の国立公園の一つとして誕生し（雲仙国立公園）、昭和31年には天草地域が追加されました（雲仙天草国立公園）。本公園の特長は、湯けむり漂う雲仙岳（温泉岳）の火山景観と、島々が連なる天草の海洋景観が織り成す、水陸の大展望です。雲仙地域は、20を超える山々から成る雲仙岳を中心とした島原半島の山岳地域で、三方の海とのセットで様々なパノラマが楽しめます。天草地域は、大小120の島々を含む多島海で、沈降海岸特有の湾入、陸繋島や海蝕崖など、海岸は変化に富み、海中ではサンゴ類も見られます。

瀬戸内海国立公園
指定：昭和9年3月16日

瀬戸内海国立公園は、昭和9年に雲仙、霧島とともに日本で最初に国立公園に指定されました。備讃瀬戸を中心に明石･紀淡･鳴門･関門･豊予の5つの海峡に囲まれた地域のうち、広い海域とそこに点在する島々、それを望む陸地の展望地が公園区域として指定されています。その範囲は1府10県にまたがり、海域を含めると90万haを超え、国内で最も広い国立公園です。特長は、大小数々の島で構成された内海の多島海景観です。沿岸の陸域にはそれらを眺められる展望地が多数存在します。

霧島錦江湾国立公園
指定：昭和9年3月16日

霧島錦江湾国立公園は、我が国最初の国立公園の一つであり、昭和9年に霧島国立公園として誕生しました。公園北部の霧島地域では、大小20以上の火山が連なり、火山活動に伴って誕生した火口湖、噴気現象、温泉及び高原などとともに、自然植生も多く残されています。公園南部の錦江湾地域では、現在も噴煙を上げ地域のシンボルともなっている桜島を中心として、薩摩半島側には開聞岳や池田湖、知林ヶ島など、また大隅半島側には亜熱帯性植物が多く生育する佐多岬 、そして湾内の海域も含め特色のある景観が広がっています。

桜の通り抜け・花のまわりみち
関連製品のご案内

造幣局本局で開催する「桜の通り抜け」は、明治16(1883)年に始まって以来、
大阪の春の風物詩として多くの皆様に永く親しまれてきました。
また、造幣局広島支局では、平成3(1991)年から構内の一部を
「花のまわりみち」として一般公開し、広く親しまれております。

造幣局では、「桜の通り抜け」「花のまわりみち」を記念した貨幣セット及び
桜の通り抜け記念メダルの通信販売を行っており、それぞれの会場での
現地販売も予定しておりますので、是非ご期待ください。

桜の通り抜け2025プルーフ貨幣セット

販売価格 16,000円(消費税・送料込)

表面

裏面

これらの貨幣セットの申込方法等の詳細については、造幣局ウェブサイトでお知らせしております。
また、造幣局サポートダイヤル(TEL:050-3615-6332　午前9時～午後8時／年中無休)でもご案内しております。

桜の通り抜け

令和7年 桜の通り抜け貨幣セット

販売価格 2,800円(消費税・送料込)

花のまわりみち

令和7年 花のまわりみち貨幣セット

販売価格 2,800円(消費税・送料込)

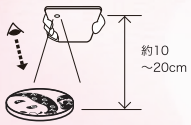
令和7年 桜の通り抜け記念メダル

表面　裏面

材質：純金（造幣局品位証明刻印入り（）をメダル裏面に打刻））／
直径：40mm／重さ：約95ｇ／技術：ホログラム潜像（表面）／
フォトイメージ加工（裏面）／その他：特製本革ケース入り

ホログラム潜像の確認方法

1. LED照明（スマートフォンのライトのようなLEDが一つだけ入っているタイプ）をメダル表面から約10～20cm離して、垂直に当てます。
2. メダルの奥に「らん」の文字が現れます。



金メダル

販売価格　1,870,000円（消費税・送料込）
販売予定数量　400個（販売予定数量のうち、海外販売用等として一部を控除いたします。）

銀メダル

販売価格　41,000円（消費税・送料込）
販売予定数量　2,000個（販売予定数量のうち、海外販売用等として一部を控除いたします。）

表面　裏面

材質：純銀（造幣局品位証明刻印入り（）をメダル側面に打刻））／
直径：55mm／重さ：約135ｇ／仕上：銀いぶし仕上げ・カラー印刷（裏面）／
その他：化粧ケース入り

表面　裏面

材質：丹銅／
直径：55mm／重さ：約110ｇ／仕上：ブロンズ仕上げ・カラー印刷（裏面）／
その他：化粧ケース入り

銅メダル

販売価格　9,000円（消費税・送料込）
販売予定数量　2,500個（販売予定数量のうち、海外販売用等として一部を控除いたします。）

今年の桜の通り抜け記念メダルは、令和７年の「桜の通り抜け」の“今年の花”「蘭蘭（らんらん）」を題材にしました。
「蘭蘭」は、北海道松前町で、「白蘭」と「雨宿」との交配から選出育成された桜で、北海道松前の子供達が上野動物園のパンダ「蘭蘭」の死を悼んだことと、花が密集して咲き、その付き方がふくよかでパンダの毛並みに似ていることからこの名が付けられました。表面には、はるのうたたねをしているパンダを、裏面には「桜の通り抜け」の文字と蘭蘭をデザインしています。
ぜひこのメダルをお客様のコレクションに加えていただき、末永くご愛蔵いただければ幸いです。

桜の通り抜け記念メダルの申込要領	
申込数	申込数に制限はありません。 （販売予定数量を超えたときは、抽選とさせていただく場合があり、その際は、申込数にかかわらず、購入数を制限する場合があります。）
申込受付期限	令和7年4月18日（金曜日）消印有効
申込方法	同封の申込はがき又は郵便はがき若しくは造幣局オンラインショップ（https://www3.mint.go.jp/）により、お申し込みください。
申込先	（はがき表） 〒530-0043　大阪市北区天満1-1-79　造幣局 桜の通り抜けメダル 係 （はがき裏） ①メダルの種類（金・銀・銅）及び申込数　②郵便番号　③住所　④氏名及び読み仮名 ⑤電話番号　⑥お客様コード（9桁の数字、造幣局に登録のある方はご記入ください。）
受け付けた方への連絡	造幣局発行の払込用紙等ご入金の案内を、5月下旬頃から順次送付いたします。 払込期限内にコンビニエンスストア、郵便局（ゆうちょ銀行）又は銀行（銀行振込手数料はお客様のご負担）でご入金願います。30万円を超える場合は、コンビニエンスストアではご入金いただけませんので、郵便局（ゆうちょ銀行）、銀行をご利用ください。造幣局オンラインショップからお申し込みされた方は、クレジットカードでもお支払いいただけます。 なお、製品発送はご入金・お支払い後となります。ご案内の払込期限内にご入金・お支払いいただけない場合は、キャンセルされたものとして取り扱わせていただきます。抽選となった場合は、受付できなかった方への連絡はいたしませんので、ご了承願います。
製品の発送	6月上旬頃から順次発送いたします。 なお、他の製品を同時にお申込み及びご入金・お支払いいただきましても、別々のお届けとなる場合があります。
返品について	製品到着後、速やかに中身をご確認いただき、涼しく湿気の少ない場所で保管してください。万一、不良品又はお申込みと異なる製品が届いた場合は、製品到着後速やかに造幣局へご連絡のうえ、ご返送ください（送料造幣局負担）。なお、お客様のご都合による返品やお客様の責に帰すべき事由による不具合には応じられません。 また、年月の経過によりケースの色合い等が変化する場合がありますが、交換には応じられませんので、ご了承願います。
個人情報の取扱い	お客様の個人情報は、お申込み製品の販売に関する事務のほか、造幣局製品やイベントのご案内、お問合せ・アンケートのために利用する場合があります。お客様のご了解がない限り、その他への利用はいたしません。

造幣局からニュースをお届け！

メールマガジン
会員登録はこちら ≫

※この冊子に掲載している画像はイメージのため、現物とは異なります。

発行所　独立行政法人 造幣局
〒530-0043　大阪市北区天満１丁目１番79号
造幣局ウェブサイト（URL）https://www.mint.go.jp/
お問合せ先　造幣局お客様サービスセンター
TEL.0570-01-2626（ナビダイヤル）
ナビダイヤルをご利用できない場合▶06-6351-2626
（平日／午前９時～午後5時）
令和7年3月28日発行（第92号）